

# 地域特産物マイスター通信

第16号

## 地域特産物マイスターの最近の活動状況について

平成12年度に発足いたしました地域特産物マイスター認定制度も平成21年度で満10年が経過し、認定者は186名と大技術者集団になりました。協会といたしましても47都道府県全てに必ずどなたかマイスターがおられるような状態をつくりあげ、皆様が全国の地域特産物に関する情報を入手し活用できる全国ネットワークを構築したいと推薦に当たられる関係者や既に認定されたマイスターの皆様に関心を持って参りました。その結果、全都道府県とまではいっておりませんが43都道府県にマイスターがおられる状況になりました。

今回、認定・登録者に対し最近の活動状況のご報告をお願いいたしましたところ77名から回答がありましたのでそのままご紹介することにいたしました。地域特産物の栽培や加工を振興することは国の奨める地産地消の普及にも貢献する重要なことであり、マイスターの皆様のご活躍に支えられているところが多いと思いますので今後のご活動にご活用いただければ幸いです。(事務局)

(写真) 第9回地域特産物マイスターの集い



## 平成21年度地域特産物マイスターが認定されました。

平成21年度の地域特産物マイスターとして22名（別添）が認定されました。平成12年度の制度発足以来の認定者は186名になりました。協会のホームページには、認定者の顔写真、分野、技術内容と活動状況等を掲載し、紹介しております。

認定者には、特産農産物の振興のため地域での活躍が期待されております。

現在、マイスターのいない空白県は、青森、宮城、富山及び山口の4県です。

（別添 平成21年度認定者名簿）

## 第9回地域特産物マイスターの集いが開催されました。

平成22年2月22日午後、第9回地域特産物マイスターの集いが三会堂ビル石垣記念ホール（東京都港区赤坂）で関係者約80名が参加して開催されました。

挨拶の後、平成21年度認定者へ小高理事長から認定証の交付され、続いて農林水産省大臣官房政策課企画官木村俊昭氏による特別講演会（演題：地域特産物の活用と地域活性化について）が行われました。

休憩後、山田地域特産物マイスター協議会会長が司会者となり、「地域特産物マイスターの活動と地域活性化」をテーマに討論会に移り、新しく認定されたマイスターからの活動状況等の報告、先輩マイスターや農林水産省出席者からの情報提供やアドバイスなどで交流を図りました。なお、助言者は協議会の中森、上田副会長が務めました。

### 次 第

#### 1. 挨拶

財団法人日本特産農産物協会理事長 小高 良彦

農林水産省生産流通振興課特産農産物対策室長 春日 健二 氏

#### 2. 平成21年度地域特産物マイスター認定証の交付

#### 3. 特別講演

＜地域特産物の活用と地域活性化＞

農林水産省大臣官房政策課企画官 木村俊昭氏

休憩

#### 4. 討論会

テーマ 「地域特産物マイスターの活動と地域活性化」

司 会：山田 琢三（地域特産物マイスター協議会会長）

助言者：中森 慰（ 同 副会長）

上田 稔（ 同 副会長）

## 平成21年地域特産物の持つ機能性等に関する研究会「特産農作物セミナー」が開催されました。

平成22年1月18日午後、特産農作物セミナーが三会堂ビル石垣記念ホールで、地域特産物マイスター、行政・農業団体・研究機関関係者等約100名の参加を得て開催されました。

本セミナーは、地域特産物の生産振興を支援する観点から、平成13年度から地域特産物の持つ機能性等をテーマに毎年開催されており、平成21年度は紅花、生薬を取り上げました。

協会には最近、薬草に関する照会が行政関係者やシンクタンク・報道機関などから多く寄せられており関心の高さが伺えます。

### 次 第

#### 1. 挨拶

財団法人日本特産農産物協会理事長 小高 良彦  
農林水産省生産流通振興課特産農産物対策室長 春日 健二 氏

#### 2. 講演

紅花の機能性について  
東北公益文科大学教授 平松 緑 氏  
生薬栽培の取り組み  
(株)ツムラ生薬本部生薬研究部長 武田 修己 氏  
生薬の契約栽培の取り組み  
群馬県沼田市生薬栽培農家 大河原 吉恵 氏

#### 3. 総括討議

座長 元北陸農業試験場長 平岩 進 氏

地域特産物マイスター協議会総会が開催され、新役員の選任（任期平成22年2月22日から平成24年総会の日まで）、平成21年度決算及び平成22年度予算の承認が行われました。

地域特産物マイスターの集いの終了後、山田会長が議長となって行われました。山田会長からは新たに認定されたマイスターの方々の協議会参加への歓迎の言葉に続いて、地域特産物の生産振興を通じてマイスターの果たす役割の重要性が強調され、全国に広がる会員がネットワークを形成して活動して存在感を高めようとの呼びかけが

ありました。

議事に入り、平成21年度決算案が事務局から、監査報告が高橋監事からあり、審議の結果、承認されました。続いて、平成22年度予算案が提案され、原案のとおり承認されました。

また、役員の任期満了に伴い、次期役員の選任を行った結果、現役員全員の再任が決まりました（別添 新役員名簿）。

## 平成21年度地域特産物マイスター活動状況調査結果について

地域特産物マイスターに対する講演依頼や現地指導要請に的確に対応するため、認定者186人に対し、最新の活動状況等について調査を実施いたしました。その結果約4割に当たる77名から回答がありました。マイスターの皆様の中には高年齢の方や病気等で療養中の方もおられましたが、大部分の方は認定を受けた地域特産物に直接関する活動のほか、地域における地産地消活動などの積極的に活動しておられることが分かりました。

今後は最新時点の情報を収集し、マイスターの持つ専門的ノウハウに期待する関係者にも提供したいと考えておりますのでご協力をお願いいたします。

## 平成21年度地域特産物マイスター活動状況調査結果

### ①認定を受けた地域特産物に直接関する活動（複数回答）

栽培・剪定等の技術相談・指導	21
植付け、収穫等の体験学習（地域子供会、保育園児、小・中・高校生対象）	15
PR活動（調理実習、料理教室、道の駅・直販所での実演販売等）	13
視察・研修等受け入れ（農業高校、農業大学校、大学、先進農業者等）	13
講演会等講師（小・中・高・大学生、市・県職員等）	10
登録商標の取得、新商品開発、ブランド化の推進	6
新品種育成の栽培試験等への参画	5
新聞・テレビ・雑誌等からの取材対応	5
技術競技会・品評会・研究会参加	3
食育指導等（小学生）	2

### ②地域における地産地消活動などの中で自身が果たしている活動（複数回答）

PR活動（イベント参加、料理実演・指導、試食品無料配布、テレビ出演等）	31
地域活性化組織の役員等（営農組合、有機農産物生産、農商工連携等）	10
農作業体験学習指導（子供会、小学生等）	13
研修会・講習会・高齢者大学等講師	5
視察者受入	3

## 平成21年度地域特産物マイスター認定者

No.	氏名	住所	生年月日	分野
1	おかもと ひろみ 岡本 浩三	長野県下伊那郡泰阜村	昭和12年7月7日	源助かぶ菜
2	むとう そうえい 武藤 惣栄	新潟県東蒲原郡阿賀町	昭和6年9月8日	わらび
3	みなみの えいじ 南野 英二	石川県金沢市	昭和21年11月23日	郷土野菜（加賀野菜、能登野菜等）
4	げんない たけお 源内 武雄	福井県大野市	昭和14年1月9日	サトイモ
5	ますだ さだお 増田 貞雄	福井県敦賀市	昭和15年7月30日	マナ（とう立ち菜）
6	にしかわ せいいち 西川 誠一	福井県福井市	昭和16年3月31日	河内赤カブラ
7	こにし まさこ 小西 雅子	福井県坂井市	昭和27年3月4日	農産加工（ラッキョウ）
8	いながき とみひろ 稲垣 富宏	愛知県西尾市	昭和21年12月8日	てん茶
9	いちかわ たいぞう 市川 泰三	三重県亀山市	昭和39年12月23日	茶「手揉み製法」
10	いちかわ ひろみ 市川 浩美	三重県鈴鹿市	昭和35年5月21日	茶「手揉み製法」
11	ふじわら まこと 藤原 誠	三重県伊勢市	昭和25年7月30日	バラ
12	もりかわ まさる 森川 まさる	三重県志摩市	昭和24年2月1日	きんこ（さつまいもの煮切り干し）
13	まつおか たかあき 松岡 孝明	大阪府八尾市	昭和40年8月20日	八尾若ごぼう、八尾えだまめ、ネギ
14	うえおか ひろこ 植岡 洋子	兵庫県神崎郡福崎町	昭和29年5月19日	もち麦（加工）
15	たけだ ありとし 竹田 有利	兵庫県たつの市	昭和14年3月30日	揖保川トマト
16	きたもと けいいち 北本 恵一	兵庫県加西市	昭和14年6月15日	ハリマ王（ニンニク）
17	いしとび しょうじ 石飛 正治	島根県出雲市	昭和25年1月25日	いちじく（品種：蓬萊柿）
18	はたの やすと 畑野 泰人	熊本県宇城市	昭和44年9月23日	い草 畳表
19	よしだ あきのり 吉田 昭則	熊本県八代市	昭和38年10月5日	い草 畳表
20	おおた ともゆき 太田 智之	熊本県八代市	昭和41年2月24日	い草 畳表
21	いとう てつや 伊藤 哲矢	熊本県八代市	昭和51年8月7日	トマト
22	ばば せつえ 馬場 節枝	長崎県雲仙市	昭和25年12月4日	伝統野菜（雲仙こぶ高菜）等の農産加工品

## 地域特産物マイスター協議会役員名簿

平成22年2月22日

平成20年2月26日～平成22年2月21日間の役員を全員再選として提案し承認された。

役員	氏名	住所	認定年度
会長	山田 琢三	香川県さぬき市津田町	平成12年度
副会長	中森 慰	三重県度会郡度会町	14
副会長	上田 稔	茨城県小美玉市	15
理事	<small>おなが</small> 翁長 <small>ちかこ</small> 周子	沖縄県那覇市三原	12
理事	山本 博一	兵庫県篠山市川北	13
理事	<small>さくもと</small> 作本 弘美	熊本県宇城市松橋町	14
理事	阿部 誠	長野県茅野市玉川	15
理事	斎藤 作圓	秋田県由利本庄市西目町	16
理事	鈴木 丑三	静岡県伊豆市湯ヶ島	16
理事	栗田 和則	山形県最上郡金山町	17
監事	高橋 良孝	東京都新宿区細工町	12
監事	原 キヨ	福島県東白川郡棚倉町	14

(備考) 任期：平成22年2月22日から平成24年総会の日まで